

# 2016年度第3四半期 決算ハイライト

2017年2月3日

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。

かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Reportをはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。

#### <本資料における計数の定義>

連結	: 三菱UFJフィナンシャル・グループ(連結)
2行合算	: 三菱東京UFJ銀行(単体)と三菱UFJ信託銀行(単体)の単純合算

# 目次

・損益サマリー	3
・親会社株主純利益の概要	4
・B/Sサマリー	5
・貸出金・預金	6
・国内預貸金利回り	7
・貸出資産の状況	8
・保有有価証券の状況	9

## 業務純益

- 業務粗利益は海外の預貸金収益や、国内外のソリューション業務収益が伸長し、債券関係損益も増加したが、国内預貸金収益の減少、運用商品販売の低調に、為替影響も加わり減少
- 営業費は為替影響もあり減少
- 業務純益は1,083億円減少の10,606億円

## 与信関係費用総額\*1

- 2行合算で戻入益を計上、連結でも費用減少

## 株式等関係損益

- 政策保有株式の売却進捗により株式等売却損益が増加

## 持分法による投資損益

- 為替影響もあり、モルガン・スタンレーの利益貢献が減少

## 親会社株主四半期純利益\*2

- 以上の結果、653億円減益の7,869億円

〈連結P/L〉 (単位:億円)

	15年3Q	16年3Q	増減	
1 業務粗利益(信託勘定償却前)	30,965	29,279	▲ 1,686	
2 資金利益	15,960	14,702	▲ 1,257	
3 信託報酬+役務取引等利益	10,395	10,078	▲ 316	
4 特定取引利益+その他業務利益	4,610	4,498	▲ 112	
5 うち国債等債券関係損益	935	1,276	341	
6 営業費(▲)	19,276	18,673	▲ 602	
7 業務純益	11,689	10,606	▲ 1,083	
8 与信関係費用総額*1	▲ 591	▲ 509	81	
9 株式等関係損益	636	961	325	
10 株式等売却損益	723	981	257	
11 株式等償却	▲ 87	▲ 19	68	
12 持分法による投資損益	1,913	1,711	▲ 201	
13 その他の臨時損益	▲ 240	▲ 648	▲ 408	
14 経常利益	13,408	12,122	▲ 1,286	
15 特別損益	▲ 435	▲ 595	▲ 160	
16 法人税等合計	▲ 3,548	▲ 2,796	751	
17 親会社株主四半期純利益*2	8,522	7,869	▲ 653	
18 1株当たり利益(円)	61.23	57.80	▲ 3.43	
(ご参考)	15年3Q	16年3Q	増減	17年度目標
19 ROE*3	9.16%	8.45%	▲0.70%	8%台後半
20 経費率	62.2%	63.7%	1.5%	60%程度

\*1 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)+償却債権取立益

\*2 親会社株主に帰属する四半期純利益

\*3  $\frac{\text{親会社株主四半期純利益} \times 4 \div 3}{\{(\text{期首株主資本合計} + \text{期首為替換算調整勘定}) + (\text{期末株主資本合計} + \text{期末為替換算調整勘定})\}} \times 100$

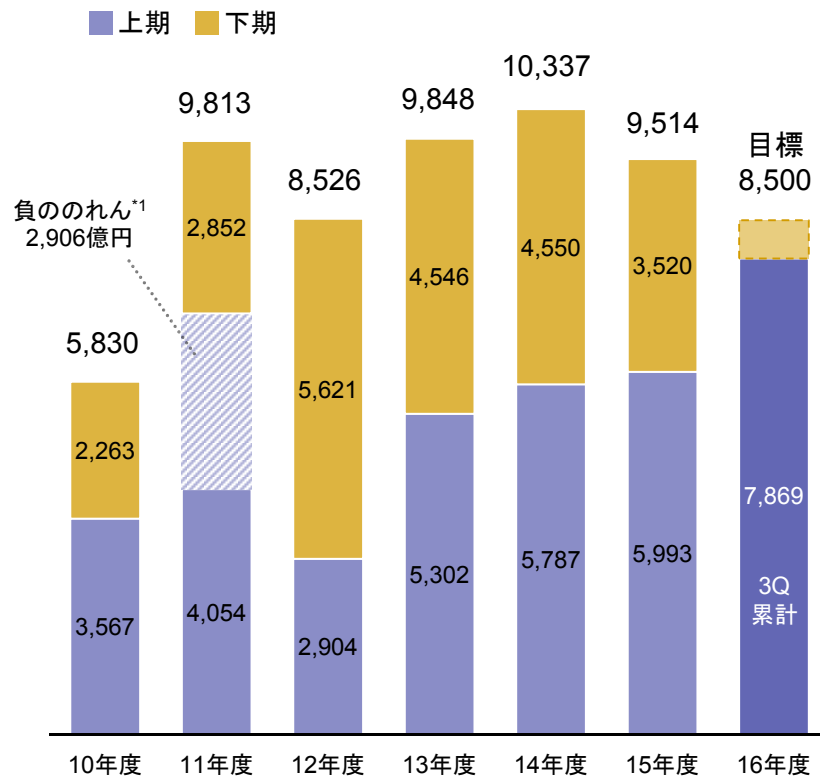
# 親会社株主純利益の概要

【連結】

- 親会社株主四半期純利益は7,869億円、通期業績目標に対する進捗率は92.5%

## 親会社株主純利益の推移

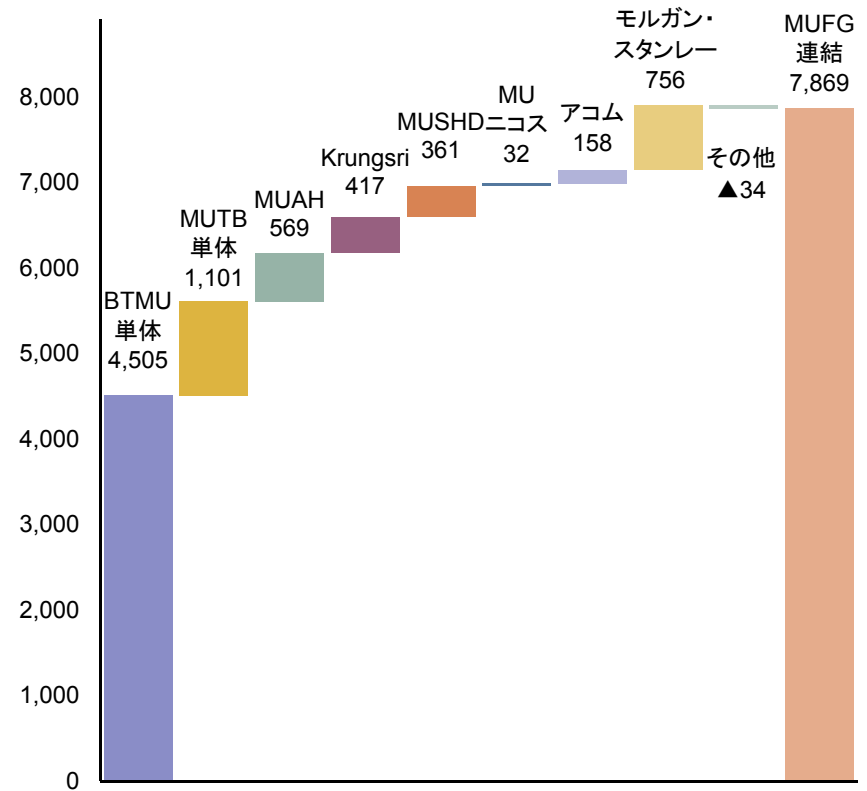
(億円)



\*1 モルガン・スタンレーの持分法適用関連会社化に伴う負ののれん

## 親会社株主四半期純利益内訳\*2

(億円)



\*2 持分比率勘案後の実績

## 貸出金(銀行勘定+信託勘定)

- 為替影響もあり、国内法人貸出および海外貸出が増加し、16年9月末比増加

## 有価証券

- 外国債券、国債の減少を主因に減少

## 預金

- 個人預金の増加、為替影響による海外店その他預金の増加を主因に16年9月末比増加

## 開示債権

- 開示債権残高の減少に加え、総与信の増加により、開示債権比率は低下

## その他有価証券評価益

- 国内株式の評価益が増加した一方、外国債券および国債の評価益が減少し、16年9月末比減少

〈連結B/S〉 (単位:億円)

	16年12月末	16年9月末比
1 資産の部合計	3,020,564	83,792
2 貸出金(銀行勘定+信託勘定)	1,090,528	40,350
3 貸出金(銀行勘定)	1,088,620	40,172
4 うち住宅ローン <sup>*1</sup>	156,230	▲148
5 うち国内法人貸出 <sup>**2</sup>	446,190	12,146
6 うち海外貸出 <sup>**3</sup>	424,301	34,349
7 有価証券(銀行勘定)	575,135	▲73,948
8 うち国内株式	60,501	7,243
9 うち国債	215,974	▲39,183
10 うち外国債券	212,271	▲45,456
11 負債の部合計	2,858,581	86,825
12 預金	1,664,298	48,047
13 うち個人預金(国内店)	732,869	20,186
14 純資産の部合計	161,983	▲3,032
15 金融再生法開示債権 <sup>*1</sup>	11,660	▲474
16 開示債権比率 <sup>*1</sup>	1.07%	▲0.10%
17 その他有価証券評価損益	31,945	▲2,144

\*1 2行合算+信託勘定 \*2 政府等向け貸出除き  
 \*3 海外支店+MUAH+Krungsri+BTMU(中国)+BTMU(マレーシア)  
 +MUFGバンク(ヨーロッパ)

貸出金残高109.0兆円  
(16年9月末比+4.0兆円)

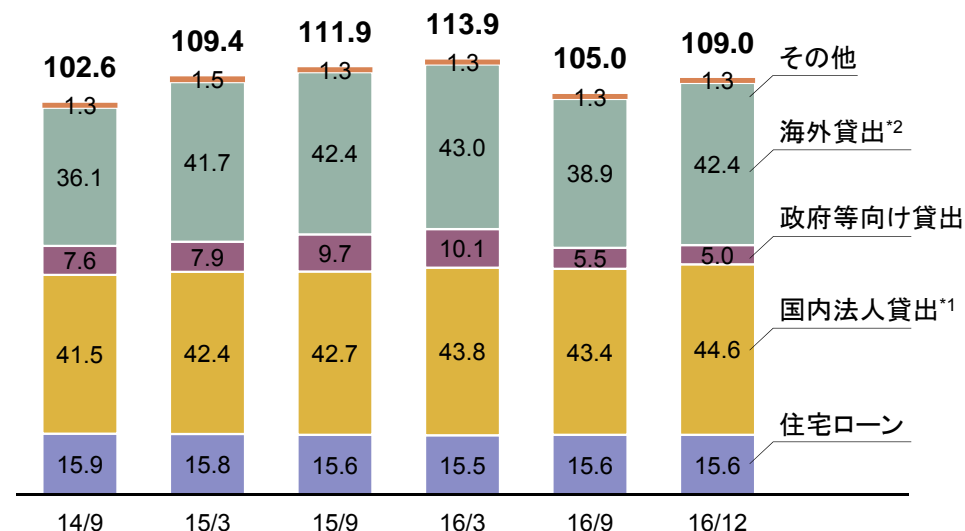
<16年9月末比増減の主要因>

- 住宅ローン ▲0.0兆円
- 国内法人貸出\*1 +1.2兆円  
(除く為替影響) (+0.2兆円)
- 政府等向け貸出 ▲0.5兆円
- 海外貸出\*2 +3.4兆円  
(除く為替影響) (+0.3兆円)

\*1 政府等向け貸出を除く、外貨建貸出を含む

\*2 海外支店+MUAH+Krungsri+BTMU(中国)+BTMU(マレーシア)+MUFGバンク(ヨーロッパ)

(兆円) 【貸出金(末残)\*3】



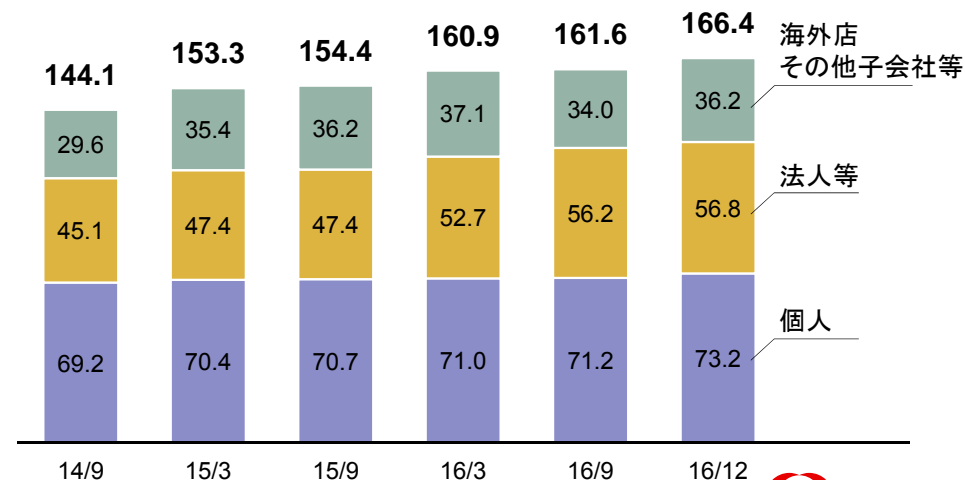
\*3 銀行勘定+信託勘定

預金残高166.4兆円  
(16年9月末比+4.8兆円)

<16年9月末比増減の主要因>

- 個人預金 +2.0兆円
- 法人等預金 +0.5兆円
- 海外店その他 +2.2兆円  
(除く為替影響) (+0.0兆円)

(兆円) 【預金(末残)】

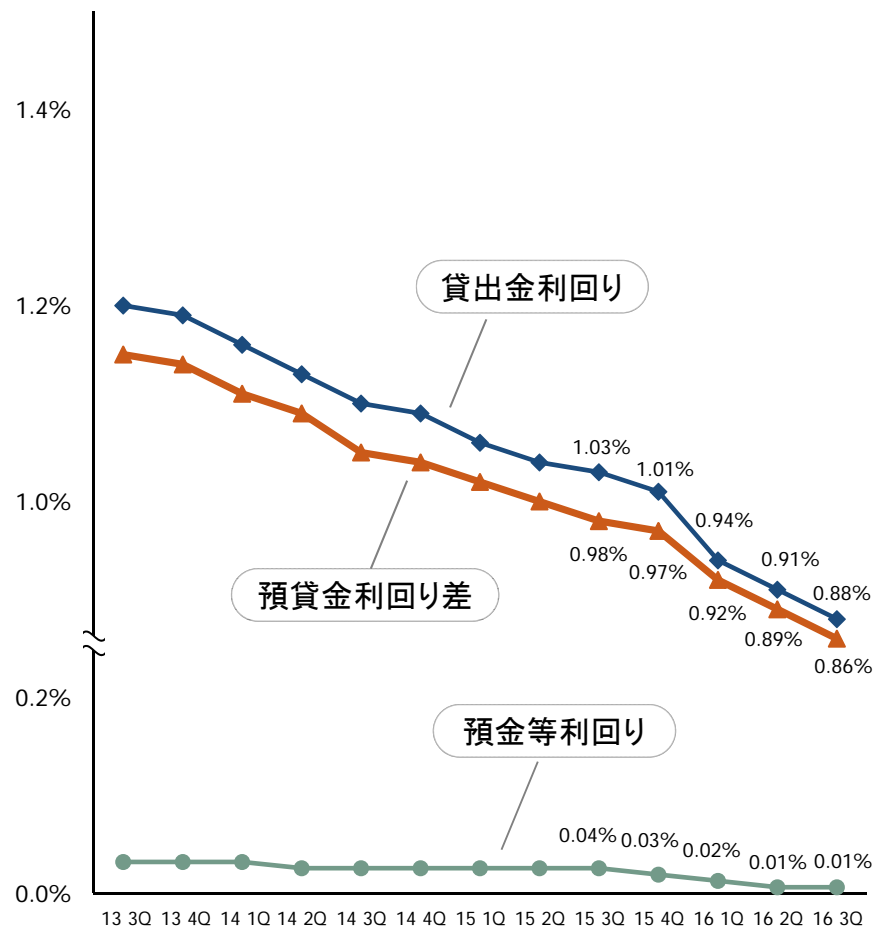


# 国内預貸金利回り

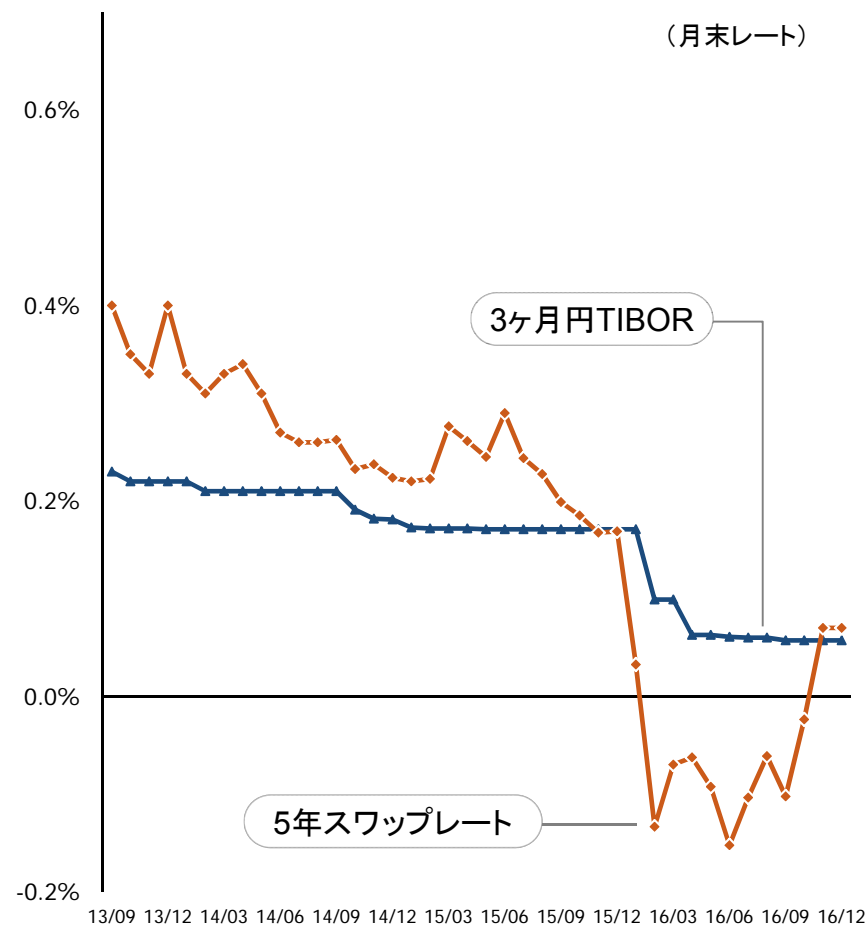
【2行合算】

- 16年度3Qの国内預貸金利回り差(政府等向け貸出除き)は、市場金利低下等の影響を受けた貸出金利回りの低下により、16年度2Q比0.02%縮小

国内預貸金利回りの推移(政府等向け貸出除き)



(ご参考)市場金利の推移



(出典: Bloomberg)





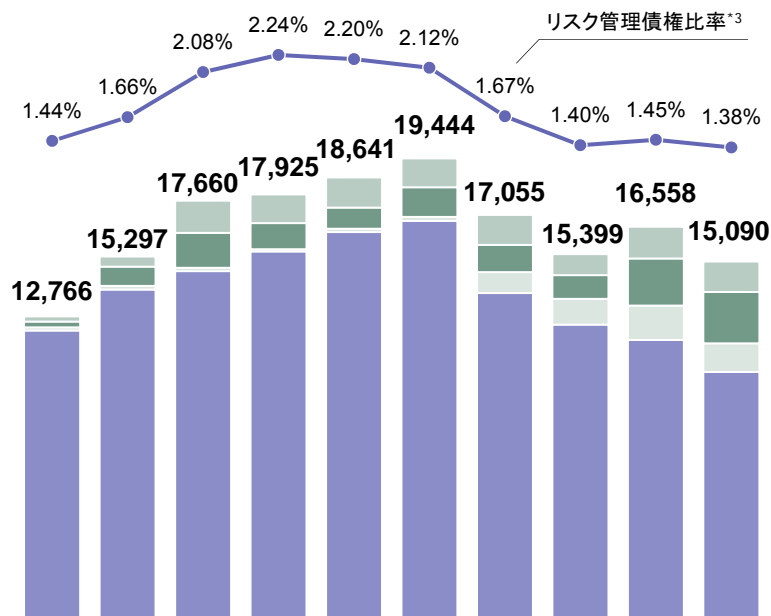
# 貸出資産の状況

【連結】

- リスク管理債権比率は16年3月末比0.06%低下し1.38%
- 与信関係費用総額は509億円の費用計上（2行合算は258億円の戻入益計上）

## リスク管理債権合計\*1

(億円)

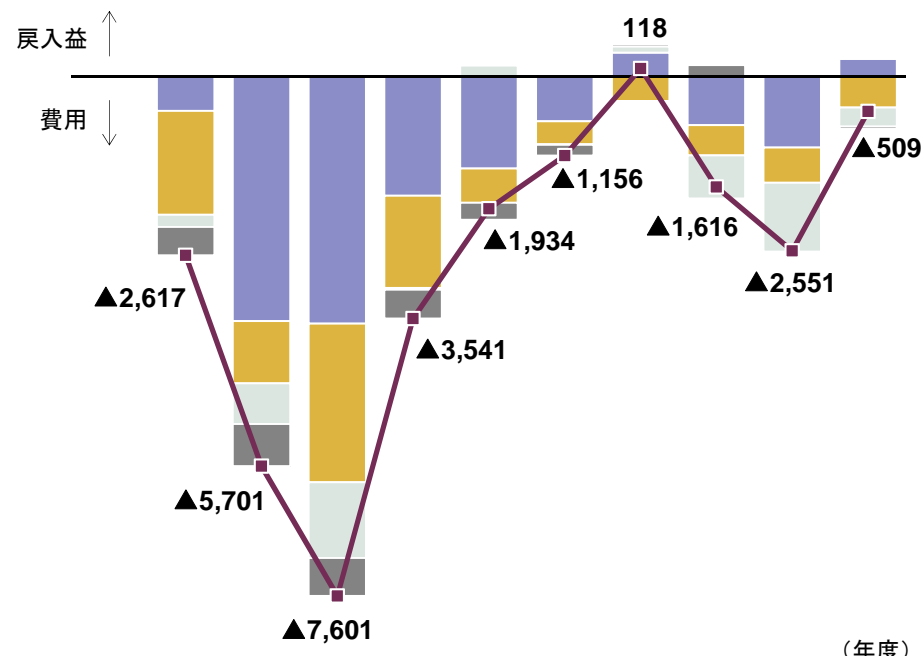


[内訳]	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	16/12
EMEA <sup>*2</sup>	212	426	1,363	1,212	1,272	1,220	1,263	882	1,339	1,285
米州 <sup>*2</sup>	248	812	1,473	1,103	892	1,250	1,149	1,007	1,994	2,176
アジア	131	154	144	94	144	170	890	1,088	1,453	1,207
国内	12,173	13,905	14,679	15,515	16,332	16,803	13,752	12,420	11,771	10,422

\*1 銀行法に基づくリスク管理債権、地域は債務者の所在地による区分  
 \*2 EMEA(欧州、中近東他)、米州の12/3期以前は、その他、アメリカとして開示した計数を表示  
 \*3 リスク管理債権合計÷貸出金残高(銀行勘定、末残)

## 与信関係費用総額

(億円)



[内訳]	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16(3Q)
2行合算	▲501	▲3,578	▲3,616	▲1,742	▲1,345	▲653	351	▲711	▲1,037	258
CF <sup>*4</sup>	▲1,521	▲910	▲2,322	▲1,350	▲501	▲337	▲357	▲441	▲516	▲452
海外 <sup>*5</sup>	▲178	▲597	▲1,106	▲27	161	▲8	92	▲632	▲1,008	▲278
その他 <sup>*6</sup>	▲415	▲615	▲557	▲421	▲249	▲156	32	169	10	▲37

\*4 MUニコスとアコムの子会社ベース合算 \*5 BTMU、MUTB海外連結子会社の合算  
 \*6 その他子会社および連結調整等

# 保有有価証券の状況

【連結・2行合算】

## その他有価証券(時価あり)の内訳

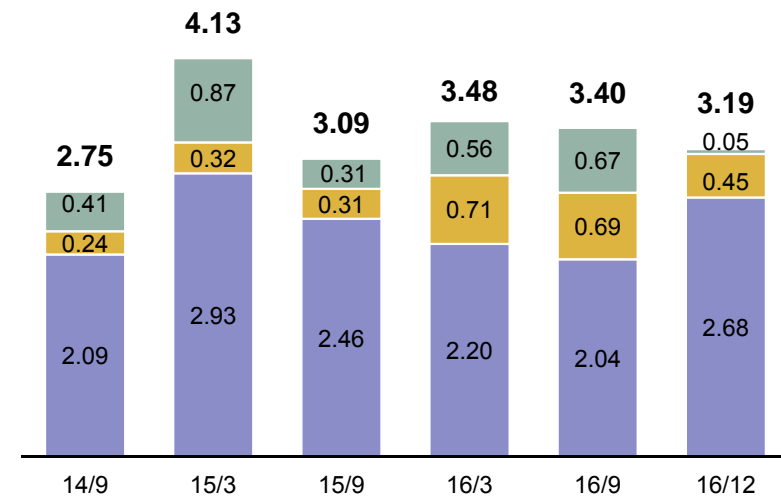
(億円)

	16年12月末残高		評価損益	
	16/9末比	16/9末比	16/9末比	16/9末比
1 合計	532,416	▲75,200	31,945	▲2,144
2 国内株式	52,416	6,166	26,828	6,402
3 国内債券	241,387	▲39,163	4,529	▲2,422
4 国債	204,964	▲39,183	3,995	▲2,125
5 その他	238,612	▲42,203	587	▲6,125
6 外国株式	1,622	176	302	126
7 外国債券	201,691	▲45,405	▲263	▲6,440
8 その他	35,299	3,024	549	188

## その他有価証券評価損益の推移

(兆円)

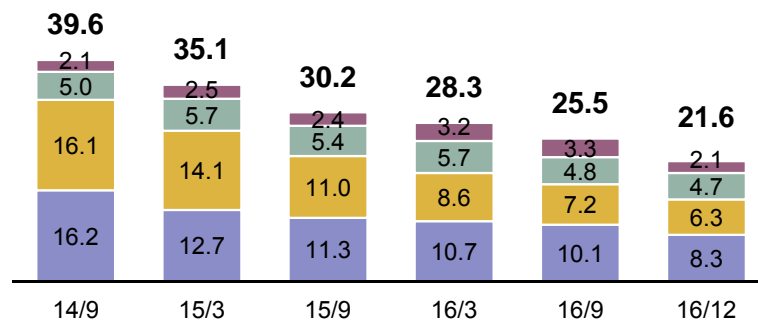
■ 国内株式 ■ 国内債券 ■ その他



## 国債の残存期間別残高(2行合算)\*1

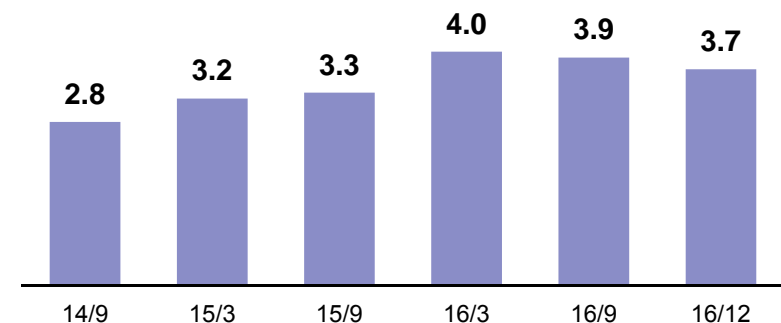
(兆円)

■ 1年以内 ■ 1年超5年 ■ 5年超10年 ■ 10年超



## デュレーション(国債のみ・2行合算)\*2

(年)



\*1 その他有価証券および満期保有目的の国債

\*2 その他有価証券